

自己点検・評価シート

整理No.	1-(1)-②	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	学力向上推進事業	所属名 教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む
	施策	1102	教育の充実

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小中学校児童生徒
意図 (どのような状態にするために)	児童生徒個々が「確かな学力」を身につける。
手段 (どうするのか)	基礎学力の定着と学力の向上に向けた全市的な施策を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	講師招聘 学力向上推進事委託	講師招聘 学力向上推進事委託	講師招聘 学力向上推進事委託	講師招聘		
	年度別実績	・学力向上推進事業委託 ・基礎学力定着支援事業 ・児童生徒学力向上教材整備	・学力向上推進事業委託 ・基礎学力定着支援事業 ・児童生徒学力向上教材整備	・学力向上推進事業委託 ・基礎学力定着支援事業 ・児童生徒学力向上教材整備			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	10,046	10,436	10,241	4,690		
	直接経費 A	9,296	9,693	9,512	4,690		
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他					
	一般財源	9,296	9,693	9,512	4,690		
人件費 B	750	743	729				
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10			
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00			
	臨時職員	0.00	0.00	0.00			

4. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	【事業の概要】
	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の人材を活用しながら進める「基礎学力定着支援事業」 2 学習習慣定着のために家庭や地域と協力して進める「トリニティープラン」 3 学力向上教材費
	【事業の成果】
	基礎学力定着支援事業は、基礎・基本事項の定着が不十分な児童・生徒のみならずすべての児童・生徒の学力支援策として放課後、長期休業中に実施されており、市内44小中学校で、支援者165名によって、のべ2,683時間実施された。トリニティープランは学校・地域・保護者の連携によって、学習習慣の定着に努めており、全国学力・学習状況調査でも家庭学習の定着で良好な結果を維持している。

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	地域の人材(講師)を活用した授業の実施回数	回	目標	3,100	3,100	3,050	3,100		
				実績	2,474	2,654	2683			
	(指標の説明)									
	2	学力向上推進事業委託数 →参加児童生徒数(平成26年度より)	地域	目標	18	18	17	4,000		
実績				18	18	17				
(指標の説明)										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地域の人材(講師)を活用した授業の実施回数	回	80%	86%	88%		
	2	学力向上推進事業委託数 →参加児童生徒数(平成26年度より)	地域	100%	100%	100%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	全ての児童生徒を対象とした事業であり、市が関与し実施することが妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	全国学力・学習状況調査では、小中学校とも良好な結果を維持しており、おの事業の成果の1つと考えている。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	放課後や長期休業などに実施しており、授業以外の学力向上策として有効かつ効率的に実施されている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	すべての児童生徒を対象としているが、学力の定着が不十分な児童生徒への個別支援にも活用されており、より児童生徒の実態に即した活用となっており、有効である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	学校・保護者・地域の連携による事業であり、すべての児童生徒の学力向上につながる大変有効な事業である。平成26年度より、基礎学力定着支援事業のみとし、全小中学校で実施の方向である。トリニティプランについては、「小中一貫教育推進プラン」と統合し、新規事業として特色ある中学校区づくりをより推進していくことを考えている。	
今後の課題・方向性	学力向上は学校の責務であるが、目的意識や学ぶ意欲、学習習慣の育成などには、家庭や地域の協力が欠かせない。今後も、保護者や地域への情報発信を推し進め、地域の声を反映させるとともに、地域人材を放課後等の学習指導、学習習慣の定着を図るための支援者として積極的に活用し、学校・保護者・地域が協働した学力向上策を進めることで、その効果をさらに高めたい。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	「基礎学力定着支援事業」、「トリニティプラン」「学力向上教材費」の3つの柱からなる事業であるが、平成25年度終了して、平成26年度からは「基礎学力定着支援事業」は単事業として、「トリニティプラン」については「小中一貫教育推進プラン」と統合して新規事業として実施すること。これまでこの事業が鳥取市の児童生徒の学力向上に貢献してきたので、改善変更するからには今以上の成果を期待したい。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	学力の捉え方は多様であるが、本事業の効果もあつてか狭義の学力としてしばしば言及される小学校学力テストの結果において鳥取市は全国の平均的な水準を上回る成果が得られている。一方で、活動指標と本事業のめざす「確かな学力」の関連は曖昧なものとならざるを得ず、事業の評価を難しいものとしている。
--------	--